

GA-8PE800 Ultra / Pro  
P4 Titan マザーボード

ユーザーズマニュアル

Pentium®4 Processor マザーボード  
Rev. 1102

## 目次

アイテムのチェックリスト .....	3
警告! .....	3
第1章 はじめに .....	4
機能の概要 .....	4
GA-PE800 Ultra / Proマザーボードのレイアウト .....	7
ブロック図 .....	8
第2章 ハードウェアの取り付けプロセス .....	10
ステップ1: 中央処理装置(CPU)の取り付け .....	11
ステップ1-1: CPUの取り付け .....	11
ステップ1-2: CPUヒートシンク取り付け .....	12
ステップ2: メモリモジュールの取り付け .....	13
ステップ3: 拡張カードの取り付け .....	15
ステップ4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置 の接続 .....	16
ステップ4-1: I/O背面パネルの概要 .....	16
ステップ4-2: コネクタとジャンパ設定の概要 .....	18



本書に修正箇所がある場合、英語版に従ってください。

## アイテムのチェックリスト

- |   |  |
|---|--|
| <input checked="" type="checkbox"/> The GA-8PE800 Ultra /Proマザーボード                  | <input checked="" type="checkbox"/> IDEケーブルx1 / フロッピーケーブルx1 *                    |
| <input checked="" type="checkbox"/> マザーボードドライバとユーティリティ用CD                           | <input checked="" type="checkbox"/> IDEケーブルx3 / フロッピーケーブルx1 **                   |
| <input checked="" type="checkbox"/> GA-8PE800 Ultra /Proユーザーズマニュアル                  | <input checked="" type="checkbox"/> 2 Port USBケーブル x 2                           |
| <input checked="" type="checkbox"/> クイックPCインストールガイド                                 | <input checked="" type="checkbox"/> IEEE 1394ケーブル x 1                            |
| <input checked="" type="checkbox"/> ITE RAIDマニュアル**                                 | <input checked="" type="checkbox"/> SATAケーブルx2 **                                |
| <input checked="" type="checkbox"/> SATA RAIDマニュアル**                                | <input checked="" type="checkbox"/> オーディオコンボキット x1<br>(サラウンドキット + SPDIFアウトキット)** |
| <input checked="" type="checkbox"/> マザーボード設定ラベル                                     | <input checked="" type="checkbox"/> SPDIFキットx1(SPDIFアウトキット) *                    |
| <input type="checkbox"/> GC-SATAカード(オプション) **<br>(マニュアル; SATAケーブルx1;<br>電源ケーブル x 1) | <input checked="" type="checkbox"/> I/Oシールド                                      |



### CAUTION

コンピュータのマザーボードと拡張カードには、きわめて精巧な集積回路(IC)のチップが組み込まれています。この集積回路が静電気により損傷しないように、コンピュータを操作するときは、常に次の注意事項を守る必要があります。

1. コンピュータの内部を操作するときは、コンピュータの電源を抜く。
2. コンピュータのコンポーネントを取り扱う前に、アースされたリストバンドを付ける。  
お持ちでない場合は、安全にアースされた物体か、電源装置のケースなどの金属物体に両手を置いてください。
3. コンポーネントの両端をつかみ、ICチップ、リード線やコネクタ、またはその他のコンポーネントに触れないようにする。
4. コンポーネントをシステムから取り外すとき、コンポーネントはアースされた静電気防止パッドの上、またはコンポーネントに付属する袋の上に置く。
5. マザーボードのATX電源コネクタをコンセントにつないだりコンセントから抜く前に、ATX電源のスイッチをオフにしていることを確認する。

### マザーボードをシャーシに取り付ける...

マザーボードの取り付け穴が台の穴に揃っていない場合、またはスペーサーに接続するスロットがない場合、心配するには及ません。以下の方法で、取り付け穴にスペーサーを取り付けることができます。スペーサーの下部分を切り取ります(スペーサーはとても堅いので、手を傷つけないように注意してください)。このようにして、ショートの心配をすることなしにマザーボードを台に取り付けることができます。マザーボードのPCB面からネジを絶縁するためにプラスチックのリングを使用する必要があるときがありますが、これは回路のワイヤが穴の傍にあるためです。固定穴の傍にあるPCBの回路書き込みやパーツにネジが触れないように注意してください。そうでないと、ボードが破損したり、ボードが誤作動を引き起こす原因となります。

\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

## 第1章 はじめに

### 機能の概要

フォームファクタ	• 30.5cm x 24.4cm ATXサイズのフォームファクタ, 4層PCB.
マザーボード	• GA-8PE800シリーズマザーボード: GA-8PE800 UltraおよびGA-8PE800 Pro
CPU	• Intel® Micro FC-PGA2 Pentium® 4プロセッサ用Socket 478 • Intel Pentium® 4 533MHz/400MHz FSB • Intel® Pentium® 4 (ノースウッド, 0.13μm)プロセッサのサポート • Intel® Pentium® 4 Processor (HTテクノロジ搭載)のサポート • CPUに依存する2次キャッシュ
チップセット	• チップセット845PE HOST/AGP/コントローラ • ICH4 I/Oコントローラハブ
メモリ	• 3 184ピンDDR DIMMソケット • DDR333/DDR266 DDR DIMMのサポート • 2GB DRAM (Max)までサポート • 2.5V DDR DIMMのみサポート
I/Oコントロール	• ITE8712
スロット	• 1つのAGPスロット4X (1.5Vのみ)装置のサポート • 5つのPCIスロットが33MHz & PCI 2.2準拠をサポート
オンボードIDE	• Intel ICH4 PCIチップセット上の2つのIDEコントローラ PIO,バスマスター(Ultra DMA33/ATA66/ATA100)操作モードでIDE HDD/CD-ROM (IDE1, IDE2)を提供 • RAID,Ultra ATA133/100と互換性のあるIDE3およびIDE4。**
オンボード周辺装置	• 1つのフロッピーポートが2つのFDD (360K, 720K, 1.2M, 1.44M, 2.88M/バイト)をサポート • 1つのパラレルポートが標準/EPP/ECPモードをサポート • 2つのシリアルポート(COMA & COMB) • 6つのUSB 2.0/1.1 (ケーブルによる2ポートトリア,4ポート) • 3つのIEEE1394 (ケーブルによる) • 1つのIrDAコネクタ IR/CIR用 ) • 1つのフロントオーディオコネクタ

\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

続.....

●\* (Intel 845PE/GE)チップセットのアーキテクチャ制限により、DDR 333メモリモジュールはFSB 533 Pentium 4プロセッサを使用しているときのみサポートされます。FSB 400 Pentium 4 プロセッサはDDR 266メモリモジュールのみサポートします。

ハードウェア監視	<ul style="list-style-type: none"> <li>CPU/電源/システムファン回転の検出</li> <li>CPU/電源/システムファンコントロール</li> <li>CPU過熱警告</li> <li>システム電圧の検出</li> </ul>
オンボードサウンド	<ul style="list-style-type: none"> <li>Realtek ALC650 CODEC</li> <li>ラインアウト / 2 フロントスピーカー</li> <li>ラインイン / 2 リアスピーカー(s/wスイッチによる)</li> <li>Micイン / センター&amp;サブウーファ(s/wスイッチによる)</li> <li>SPDIFアウト / SPDIFイン</li> <li>CDイン / AUXイン / ゲームポート</li> </ul>
オンボードRAID **	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンボードITE IT8212F</li> <li>データストライピング(RAID 0)またはミラーリング(RAID 1)またはストライピング+ミラーリング(RAID 0+RAID 1)をサポート</li> <li>JBOD機能をサポート</li> <li>同時デュアルATA133 IDE コントローラ操作をサポート</li> <li>HDD用のATAPIモードをサポート</li> <li>IDEバスマスタ操作をサポート</li> <li>BIOSによるATA133/RAIDモードスイッチをサポート</li> <li>起動時にステータスとエラーチェッキングメッセージを表示</li> <li>ミラーリングが自動バックグラウンドリビルドをサポート</li> <li>コントローラオンボードBIOSでLBAと拡張割り込み13ドライブ変換を特色とする</li> </ul>
オンボードSATA RAID **	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンボードシリコン画像Si3112A</li> <li>ディスクストライピング(RAID0)またはディスクミラーリング(RAID1)のサポート</li> <li>150 MB/秒までのUDMAのサポート</li> <li>AIL UDMAとPIOモード</li> <li>2つのSATAまでの装置</li> <li>ACPIとATA/ATAPI6</li> </ul>
オンボードLAN	<ul style="list-style-type: none"> <li>Intel Kenai-32 LAN PHY ** データ転送速度10/100/1000のサポート</li> <li>Intel Kinnereth-R LAN PHY * データ転送速度10/100のサポート</li> </ul>
オンボードSCR	<ul style="list-style-type: none"> <li>IT8712 I/Oチップセット(スマートカードリーダー)</li> </ul>
オンボードIEEE1394	<ul style="list-style-type: none"> <li>VT6306</li> </ul>



続.....

\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

オンボードUSB 2.0	• 内蔵ICH4チップセット
PS/2 コネクタ	• PS/2キーボードインターフェイスおよびPS/2マウスインターフェイス
BIOS	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ライセンスを供与されたAWARD BIOS, 4Mビット x 2 FWH **</li> <li>• ライセンスを供与されたAWARD BIOS, 3Mビット x 2 FWH *</li> <li>• デュアルBIOSのサポート</li> <li>• 多言語のサポート</li> <li>• フェースワイヤードのサポート</li> <li>• Qフラッシュのサポート</li> </ul>
追加機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パスワードによるPS/2キーボードの電源オン</li> <li>• PS/2マウスによる電源オン</li> <li>• 外部モデムの呼び起こし</li> <li>• STR(RAMへのサスペンド)</li> <li>• ウエークオンLAN (WOL)</li> <li>• AC回復</li> <li>• キーボードの過電流保護用ポリヒューズ</li> <li>• S3からUSB KB/マウスの呼び起こし</li> <li>• @BIOSのサポート</li> <li>• EasyTune 4のサポート</li> <li>• パスワード機能の消去のサポート</li> </ul>
オーバークロッキング	<ul style="list-style-type: none"> <li>• BIOSによる過電圧(DDR/AGP/CPU)</li> <li>• BIOSによるオーバークロック(DDR/AGP/CPU/PCI)</li> </ul>

\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用



#### \*\*\* HT機能要件の内容 :

コンピュータシステムにハイパースレッディングテクノロジの機能を使用できるようにするには、

次のプラットフォームコンポーネントが全て必要となります：

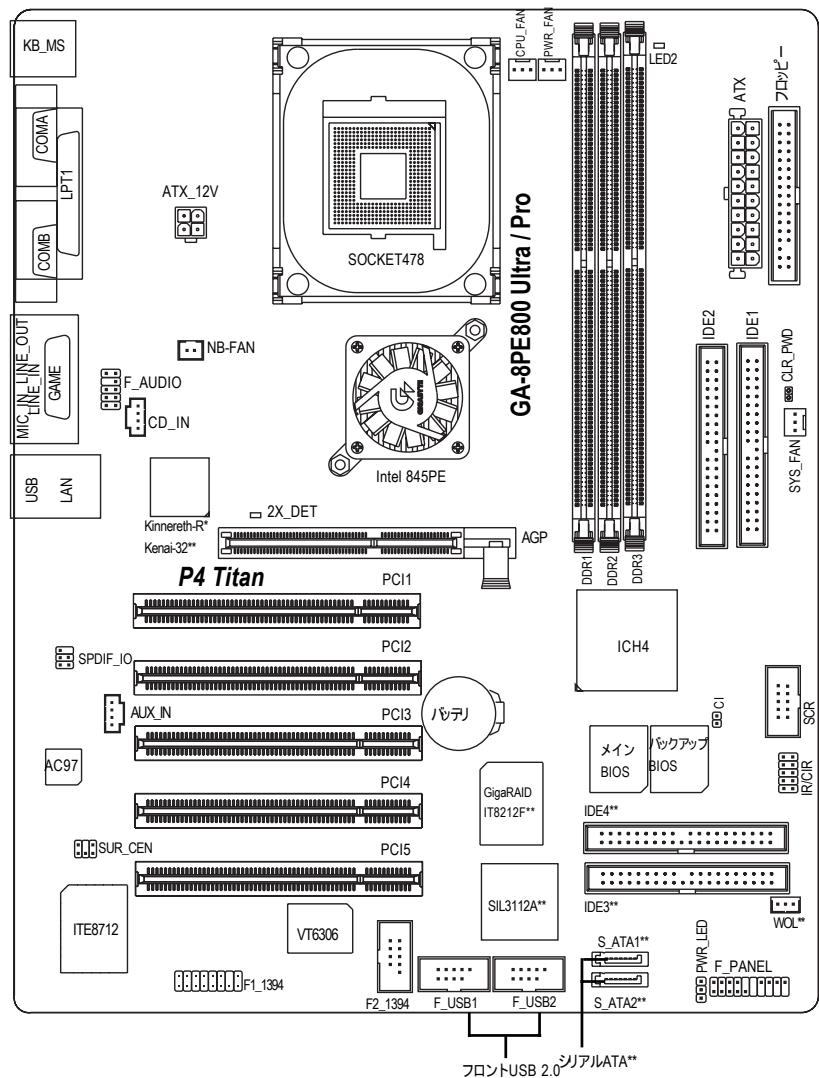
- CPU: HTテクノロジを搭載したIntel® Pentium 4プロセッサ
- チップセット: HTテクノロジをサポートするIntel® チップセット
- BIOS: HTテクノロジをサポートしこれを使用可能にしているBIOS
- OS: HTテクノロジに対して最適化されたオペレーティングシステム



お使いのプロセッサの仕様に従ってCPUのホスト周波数を設定してください。CPUの仕様を超えたシステムバスの周波数を設定することはお勧めしません。これらの特殊なバス周波数はCPU、チップセットおよびほとんどの周辺装置の標準仕様ではありません。お使いのシステムがこれらの特殊なバス周波数の元で正しく動作するかどうかは、CPU、チップセット、SDRAM、カードなどのハードウェア構成によって異なります。

日本語

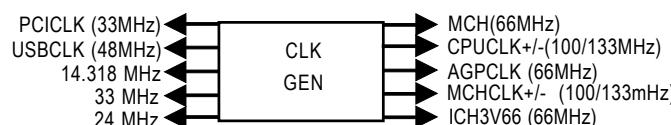
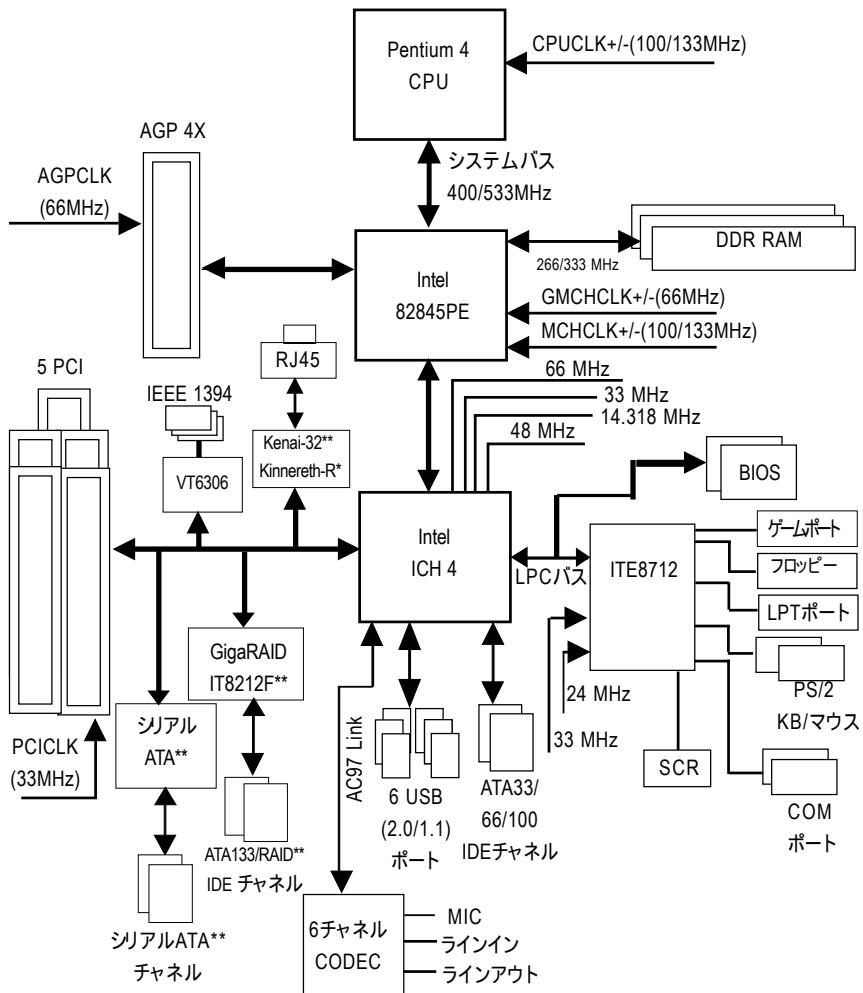
## GA-8PE800 Ultra / Proマザーボードのレイアウト



\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

日本語

## ブロック図



\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

日本語

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

## 第2章 ハードウェアの取り付けプロセス

コンピュータをセットアップするには、次のステップを完了する必要があります：

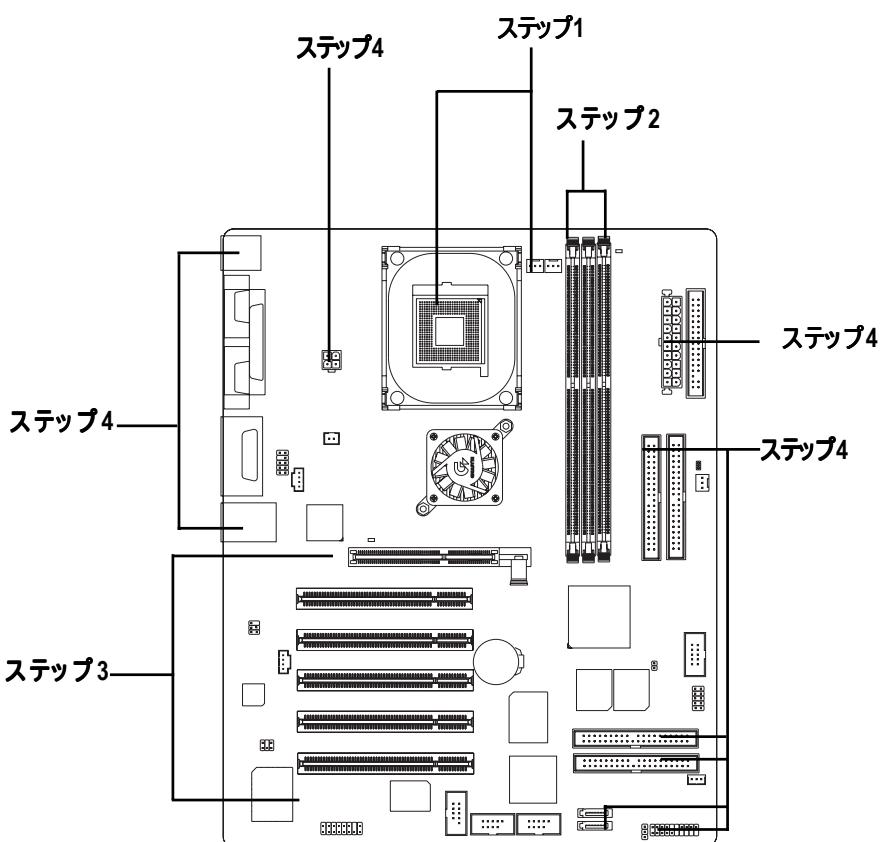
ステップ1- 中央処理装置(CPU)の取り付け

ステップ2- メモリモジュールの取り付け

ステップ3- 拡張カードの取り付け

ステップ4- リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置の接続

日本語



お疲れ様でした、これでハードウェアの取り付けが完了しました!  
電源装置をオンにするか電源ケーブルをコンセントに接続してください。続いて、  
BIOS/ソフトウェアのインストールを行ってください。

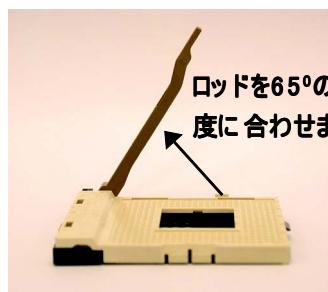
## ステップ1: 中央処理装置(CPU)の取り付け

プロセッサを取り付ける前に、次の警告をしっかり守ってください:

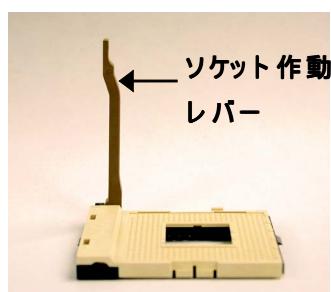


CPUソケットのピン1とCPUのカットエッジがぴったり合わないと、取り付けがうまくいきません。挿入方向を変えてください。  
CPUのタイプがマザーボードでサポートされているものであることを確認してください。

### ステップ1-1: CPUの取り付け



1. ロッドの動きは65度までは少し堅く感じるかもしれません。そのままロッドを90度まで引き寄せてください。



2. ロッドを90度の角度まで引き寄せます。



3. CPUの上面ビュー



4. ソケットのピン1を探し、CPUの上隅に金色のカットエッジを見つければ、CPUをソケットに差し込みます。

## ステップ1-2 : CPUヒートシンクの取り付け

CPUヒートシンクを取り付ける前に、次の警告をしっかり守ってください:

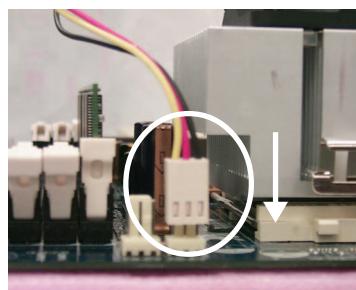


- CAUTION
1. Intel公認のクーリングファンを使用してください。
  2. CPUとヒートシンクの熱伝導を良くするために、感熱テープをご使用になるようにお勧めします(CPUクーリングファンは、感熱糊の硬化によってCPUにしっかりと固定されることがあります。このとき、クーリングファンを取り外そうとすると、クーリングファンと共にCPUソケットからプロセッサだけが外れ、そのためプロセッサが破損することがあります。これを防ぐために、感熱糊の代わりに感熱テープを使うか、細心の注意を払ってクーリングファンを取り外すようお勧めします)。
  3. CPUファンの電源ケーブルがCPUファンのコネクタに差し込まれていることを確認します。これで、取り付けは完了しました。

取り付け手順の詳細については、CPUヒートシンクのユーザーズマニュアルを参照してください。



1. ヒートシンク支持台をメインボードのCPUソケットに固定します。



2. CPUファンがCPUファンコネクタに取り付けられていることが確認できたら、取り付けは完了です。

## ステップ2: メモリモジュールの取り付け

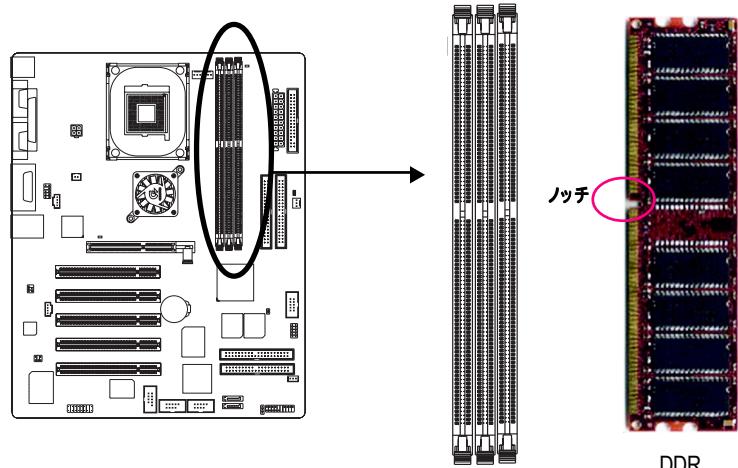


プロセッサとヒートシンクを取り付ける前に、次の警告をしっかり守ってください:

LEDがオンになっているとき、ソケットにDIMMを取り付けたりソケットからDIMMを取り外したりしないでください。

DIMMモジュールはノッチが1つしかないため一方向にしかフィットしません。間違った方向に取り付けると取り付けはうまくいきません。挿入方向を変えてください。

マザーボードは3つのデュアルインラインメモリモジュール(DIMM)ソケットを搭載していますが、最大4バンクのDDRメモリしかサポートしていません。DDRソケット1は2つのバンクを使用し、DDRソケット2&3は残りの2バンクを共有します。サポートされる可能なメモリ構成については、次の表を参照してください。BIOSはメモリのタイプとサイズを自動的に検出します。メモリモジュールを取り付けるには、これをDIMMソケットに垂直に押し込んでください。DIMMモジュールはノッチにより一方向にしかフィットしません。メモリサイズはソケットにより異なります。



パッファなしDDR DIMMタイプのサポート:

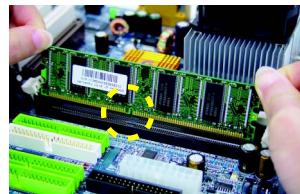
64 Mビット(2Mx8x4/バンク)	64 Mビット(1Mx16x4/バンク)	128 Mビット(4Mx8x4/バンク)
128 Mビット(2Mx16x4/バンク)	256 Mビット(8Mx8x4/バンク)	256 Mビット(4Mx16x4/バンク)
512 Mビット(16Mx8x4/バンク)	512 Mビット(8Mx16x4/バンク)	総システムメモリ(最大2GB)

DDR1	DDR2	DDR3
S	S	S
D	S	S
D	D	X
D	X	D
S	D	X
S	X	D

D:両面DIMM S:片面DIMM

X:未使用

- DIMMスロットにはノッチがあるため、DIMMメモリモジュールは一方向にしかフィットしません。



- DIMMメモリモジュールをDIMMスロットに垂直に差し込みます。それから、下に押します。



- DIMMスロットの両方のエッジでプラスチック製クリップを閉じて、DIMMモジュールを固定します。DIMMモジュールを取り外すときは、取り付けて順を逆に行ってください。



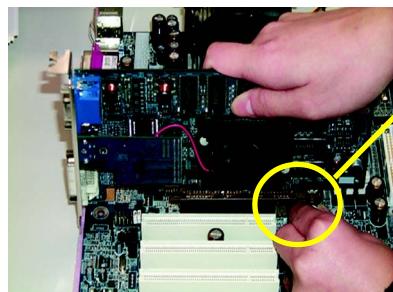
### DDRの概要

既存のSDRAM産業インフラストラクチャに基づいて確立されたDDR(ダブルデータ転送速度)メモリは、高性能かつコストパフォーマンスに優れたソリューションで、メモリベンダー、OEM、システム統合者はこれを簡単に採用することができるようになっています。

DDRメモリは、既存のSDRAMインフラストラクチャに基づいて構築されたPC産業界向けの実用的で革新的なソリューションでありながら、メモリバンド幅を2倍にすることによって、システムパフォーマンスのボトルネックを解決する上で素晴らしい進歩を成し遂げています。DDR SDRAMはその可用性、価格設定、市場全体のサポートによって、既存のSDRAM設計から優れたソリューションと移行パスを提供します。PC2100 DDRメモリ(DDR266)は、クロックの立ち上がりと立下りの両方における読み込みと書き込みを通してデータ転送速度を2倍にし、同じDRAMクロック周波数で実行しているとき、PC133の2X以上のデータバンド幅を達成しています。毎秒2.664GBのピークバンド幅を使用して、DDRメモリはシステムOEMを有効にしながら、サーバー、ワークステーション、ハイエンドなPC、ノリューデスクトップSMAシステムに適した高性能かつ低い待ち時間のDRAMサブシステムを構築します。従来のSDRAMの3.3ボルトに比べ格段に低い2.5ボルトのコア電圧により、DDRメモリは小さなフォームファクタデスクトップとノートブックアプリケーション向けの強力なソリューションとなっています。

### ステップ3: 拡張カードの取り付け

1. コンピュータに拡張カードを取り付ける前に、関連する拡張カードの取扱説明書をよく読みください。
2. コンピュータからコンピュータのシャーシカバー、必要なネジ、スロットブラケットを取り外します。
3. 拡張カードをマザーボードの拡張スロットにしっかりと押し込みます。
4. カードの金属接合部がスロットに固定されていることを確認します。
5. 再びネジを取り付けて、拡張カードのスロットブラケットをしっかりと締め付けます。
6. コンピュータのシャーシカバーを元に戻します。
7. コンピュータの電源をオンにし、必要に応じて、BIOSから拡張カードのBIOSユーティリティをセットアップします。
8. オペレーティングシステムから関連するドライバをインストールします。



AGPカード



日本語

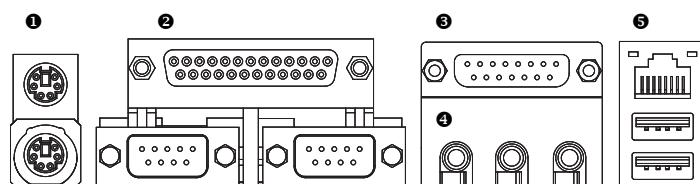
AGPカードの取り付け/取り外しを試みるとき、AGPスロットの端にある小さな白い引き抜き可能バーを慎重に引き出してください。オンボードAGPスロットをAGPカードの位置に合わせ、スロットにしっかりと押し込みます。AGPカードが小さな白い引き抜き可能バーによってロックされていることを確認してください。



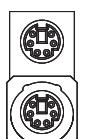
AGP 2x (3.3V)カードを取り付けると、2X\_DETが点灯し、サポートされていないグラフィックスカードが差し込まれたことを示します。これは、AGP 2x (3.3V)がチップセットによってサポートされていないため、システムが標準では起動しないことをユーザーに知らせる警告です。

## ステップ4: リボンケーブル、キャビネットワイヤ、電源装置を接続する

### ステップ4-1 : I/O背面パネルの概要



#### ① PS/2キーボードとPS/2マウスコネクタ



PS/2マウスコネクタ  
(6ピンメス)



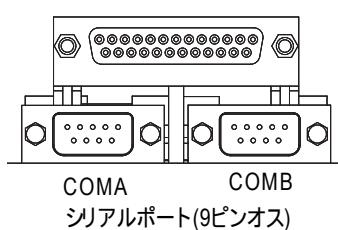
PS/2キーボードコネクタ  
(6ピンメス)

このコネクタは標準のPS/2キーボードとPS/2マウスをサポートします。

#### ② パラレルポートとシリアルポート (COMA/COMB)

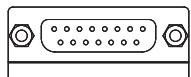
パラレルポート  
(25ピンメス)

このコネクタは2つの標準COMポートと1つのパラレルポートをサポートします。プリンタのようなデバイスはパラレルポートに接続できます。マウスとモデムはシリアルポートに接続できます。



COMA                    COMB  
シリアルポート(9ピンオス)

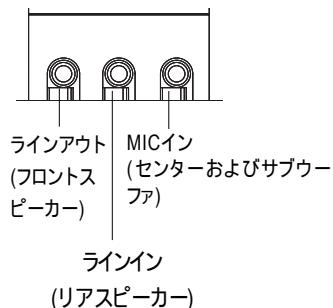
### ③ ゲーム /MIDIポート



ジョイスティック/MIDI(15ピンメス)

- このコネクタはジョイスティック、MIDIキーボード、およびその他の関連オーディオデバイスをサポートしています。

### ④ オーディオコネクタ



- オンボードオーディオドライバをインストールした後、スピーカーをラインアウトジャックに、電話をMICインジャックに接続できます。CD-ROM、ウォークマンなどのデバイスは、ラインインジャックに接続できます。

注:

S/W選択により、2-/4-/6-チャネルオーディオ機能を使用できます。  
6チャネル機能を有効にしたい場合、2通りのハードウェア接続を選択できます。

**方式1:**

"フロントスピーカー"をラインアウトに接続し "リアスピーカー"をラインインに接続し "センターとサブウーファ"をMICアウトに接続します。

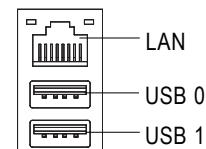
**方式2:**

オプションのSUR\_CENケーブルについては、30ページを参照するか、最寄りの販売店にお問い合わせ下さい。



2-/4-/6チャネルオーディオセットアップの詳細については「[2-/4-/6チャネルオーディオ機能の概要](#)」を参照してください。

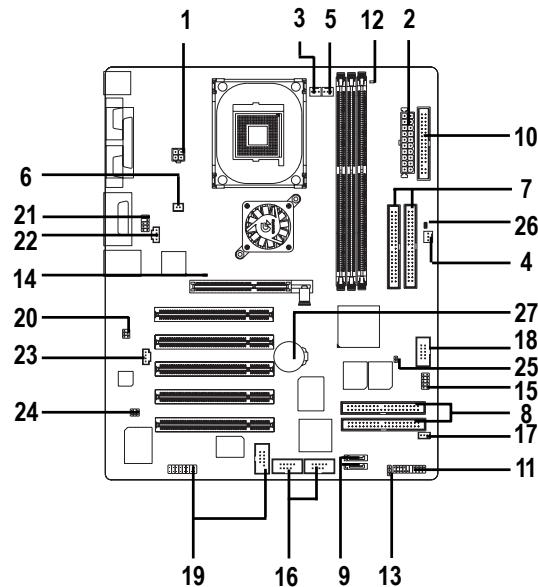
### ⑤ USB/ LANコネクタ



- デバイスをUSBコネクタに接続する前に、USBキーボード、マウス、スキャナ、zip、スピーカーなどのデバイスが標準のUSBインターフェイスを搭載しているか確認してください。

また、お使いのOSがUSBコントローラをサポートしていることも確認してください。OSがUSBコントローラをサポートしていない場合、OSベンダーに連絡してパッチやドライバをアップグレードしてください。詳細については、OSまたはデバイスベンダーにお問い合わせください。

## ステップ4-2 :コネクタとジャンパ設定の概要

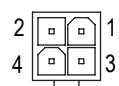
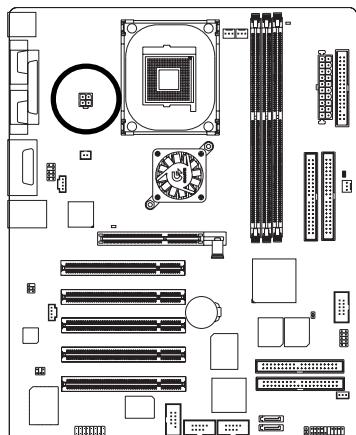


1) ATX_12V	15) IR/CIR
2) ATX Power	16) F_USB1/F_USB2
3) CPU_FAN	17) WOL**
4) SYS_FAN	18) SCR
5) PWR_FAN	19) F1_1394/F2_1394
6) NB_FAN	20) SPDIF_IO
7) IDE1/IDE2	21) F_AUDIO
8) IDE3/IDE4 **	22) CD_IN
9) SATA1/SATA2**	23) AUX_IN
10) FDD	24) SUR_CEN
11) F_PANEL	25) CI
12) LED2	26) CLR_PWD
13) PWR_LED	27) BATTERY
14) 2X_DET	

\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

## 1) ATX\_12V (+12V電源コネクタ)

このコネクタ(ATX\_12V)はCPU操作電圧(Vcore)を提供します。この"ATX\_12Vコネクタ"が接続されていないと、システムは起動できません。

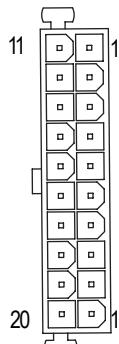
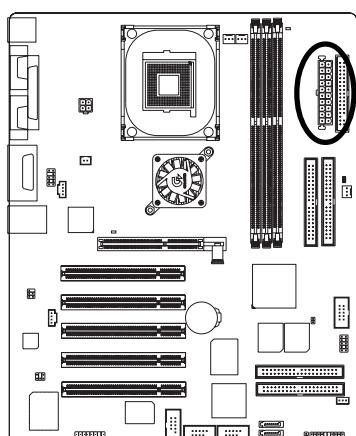


ピン番号	定義
1	アース
2	アース
3	+12V
4	+12V



## 2) ATX\_POWER (ATX電源)

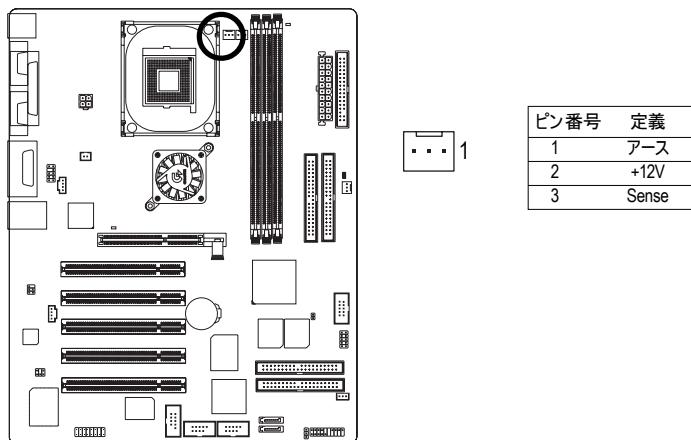
AC電源コードは、ATX電源ケーブルおよびその他の関連デバイスをマザーボードにしっかりと接続した後でのみ、電源装置に接続してください。



ピン番号	定義
1	3.3V
2	3.3V
3	アース
4	VCC
5	アース
6	VCC
7	GND
8	電源良好
9	5V SB(スタンバイ +5V)
10	+12V
11	3.3V
12	-12V
13	アース
14	PS_ON(ソフトオン/オフ)
15	アース
16	アース
17	アース
18	-5V
19	VCC
20	VCC

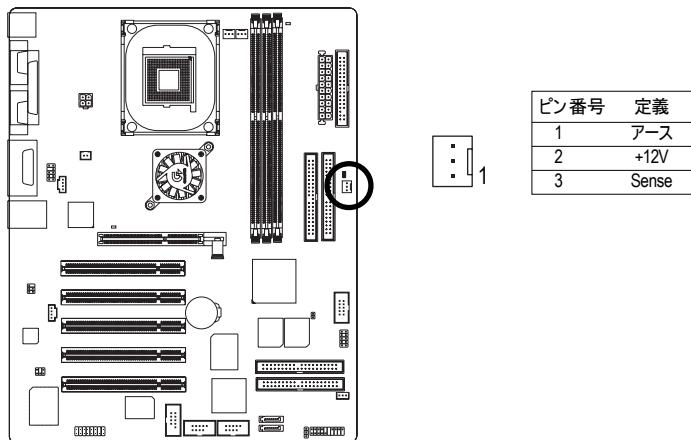
### 3) CPU\_FAN (CPUファンコネクタ)

CPUが異常な状態で作動したり過熱による損傷を防ぐために、CPUクーラーを適切に取付ける必要があります。CPUファンコネクタは、最高600 mAの電流をサポートします。



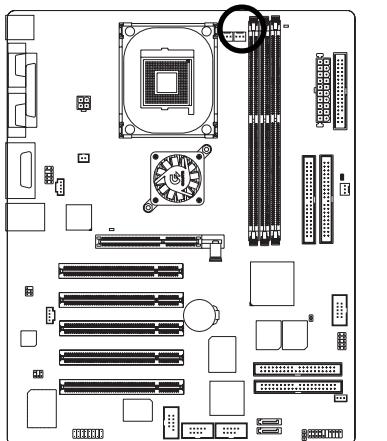
### 4) SYS\_FAN (システムファンコネクタ)

このコネクタにより、クーリングファンをシステムケースに接続してシステム温度を下げることができます。



## 5) PWR\_FAN (電源ファンコネクタ)

このコネクタにより、クーリングファンをシステムケースに接続してシステム温度を下げる事ができます。



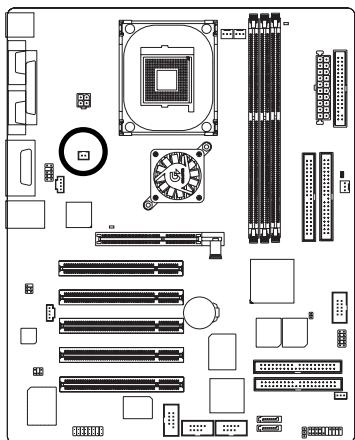
ピン番号	定義
1	アース
2	+12V
3	Sense



## 6) NB\_FAN

間違った方向に取付けるとチップファンは作動しません。場合によっては、チップファンを損傷させることもあります。

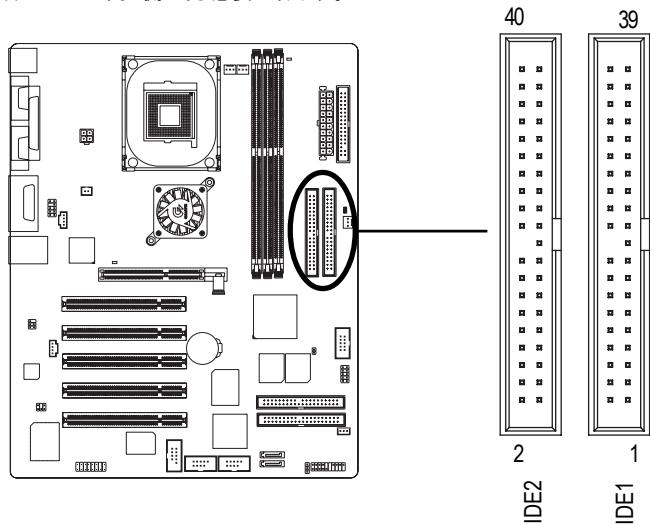
(通常黒いケーブルはアース用です)



ピン番号	定義
1	VCC
2	アース

### 7) IDE1/ IDE2(IDE1/IDE2コネクタ)

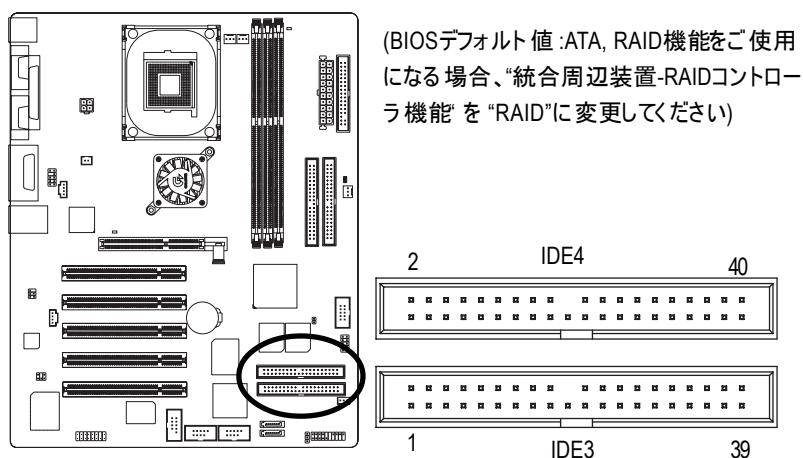
まずハードディスクをIDE1に接続してから、CDROMをIDE2に接続してください。リボンケーブルの赤いストライプはピン<sup>\*</sup>と同じ側にある必要があります。



### 8) IDE3 /IDE4 (RAID/ATA133、グリーンコネクタ)\*\*

リボンケーブルの赤いストライプはピン1と同じ側にある必要があります。

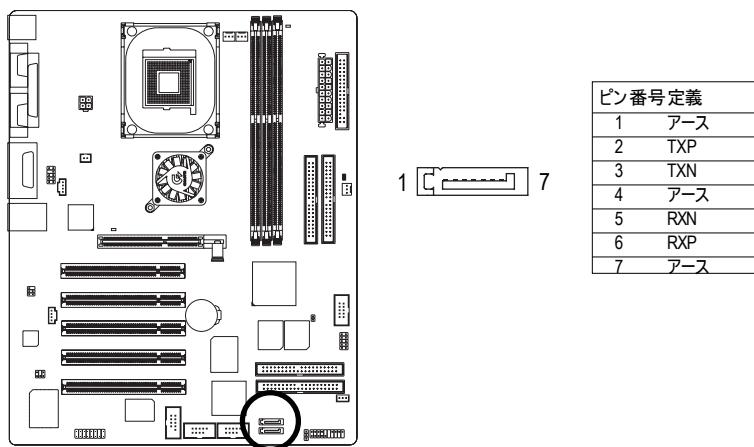
IDE3とIDE4を使用したい場合、BIOSとともに使用してください(RAIDまたはATA133)。それから、正しいドライブを取り付けて適切に操作します。詳細については、ITE RAIDマニュアルを参照してください。



<sup>\*</sup> GA-8PE800 Pro専用 <sup>\*\*</sup> For GA-8PE800 Ultra専用

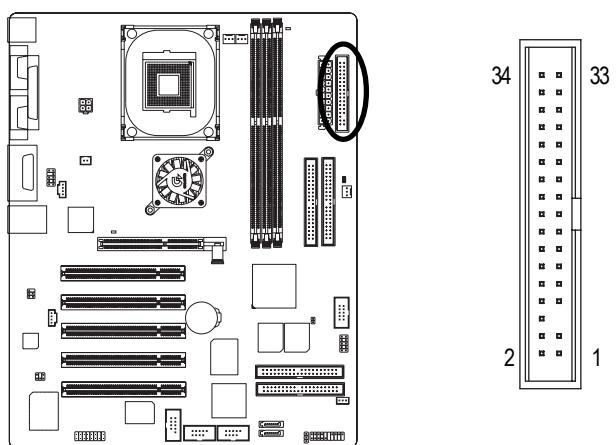
### 9) SATA1/SATA2 (シリアルATAコネクタ)\*\*

シリアルATAデバイスをこのコネクタに接続すると、高い転送速度が得られます(150MB/秒)。



### 10) FDD (フロッピーコネクタ)

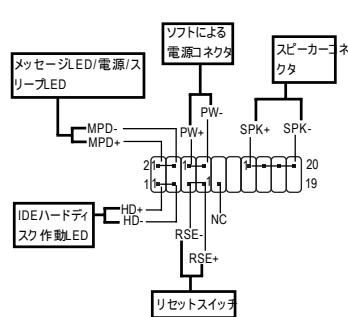
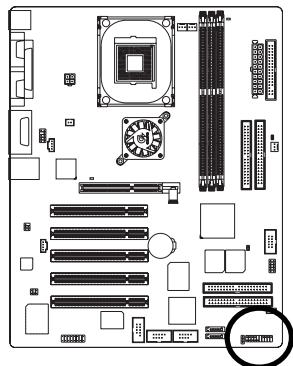
フロッピードライブのリボンケーブルをFDDに接続してください。このコネクタは360K、1.2M、720K1.44M、2.88Mバイトのフロッピーディスクのタイプをサポートしています。リボンケーブルの赤いストライプはピン1と同じ側にある必要があります。



\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

### 11) F\_PANEL (2x10ピンコネクタ)

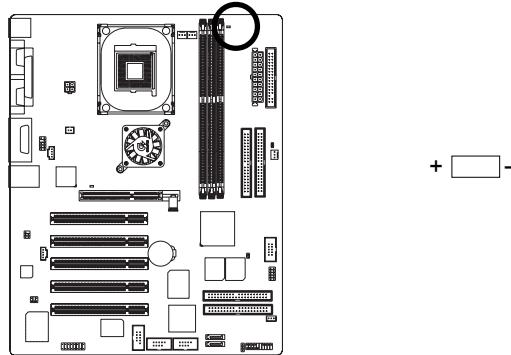
上のピン割当てに従って、シャーシ前面パネルの電源LED、PCスピーカー、リセットスイッチ、電源スイッチなどをF\_PANELコネクタに接続してください。



HD (IDEハードディスク作動LED) (青)	ピン1: LED正極(+) ピン2: LED負極(-)
SPK (スピーカーコネクタ) (琥珀色)	ピン1: VCC(+) ピン2-ピン3: NC ピン4: データ(-)
RES (リセットスイッチ) (緑)	開く: 標準操作 閉じる: ハードウェアシステムのリセット
PW (ソフトによる電源コネクタ) (赤)	開く: 標準操作 閉じる: 電源オン/オフ
MSG(メッセージLED/電源/ スリープLED)(黄色)	ピン1: LED 正極(+) ピン2: LED 負極(-)
NC(紫)	NC

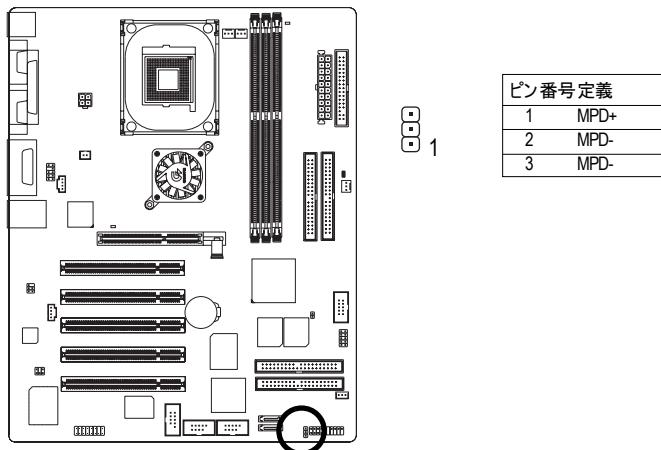
### 12) LED2

DIMM LEDがオンになっている間は、メモリモジュールを取り外さないでください。2.5Vのスタンバイ電圧により、ショートや予期せぬ損傷を受ける原因となります。メモリモジュールの取り外しは、AC電源コードが接続されていないときのみ行ってください。



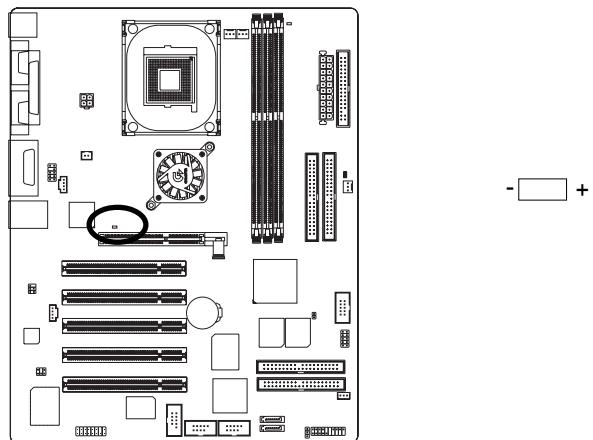
### 13) PWR\_LED

PWR\_LEDをシステム電源インジケータに接続すると、システムのオン/オフの状態を示します。PWR\_LEDは、システムがサスPENDモードに入ると点滅します。デュアルカラーLEDを使用すると、電源LEDは他の色に変わります。



### 14) 2X\_DET

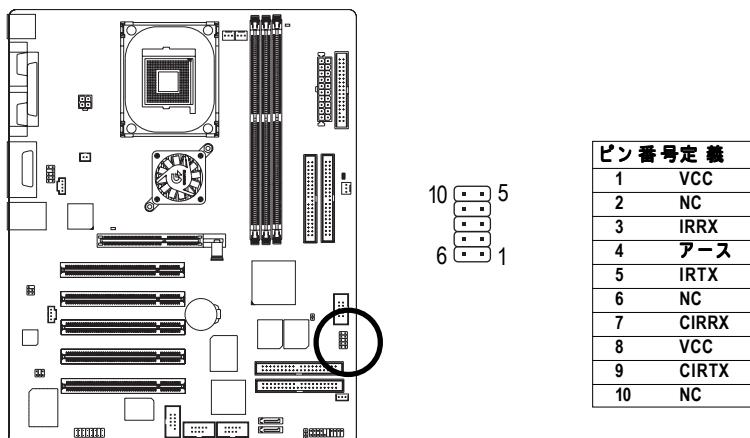
AGP 2X (3.3V)カードを取り付けると2X\_DETが点灯し、サポートされていないグラフィックスカードが挿入されたことを示します。これは、AGP 2X (3.3V)はチップセットによってサポートされていないため、システムが正常に起動しない場合もあることをユーザーに知らせるものです。



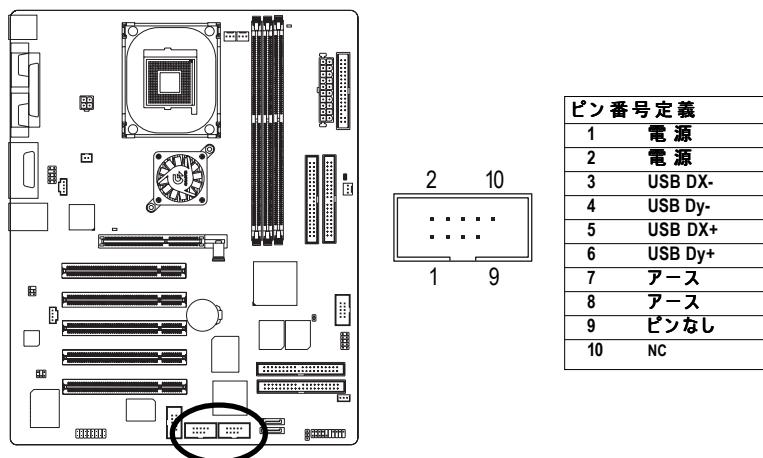
**15) IR\_CIR**

IRデバイスのピン1がコネクタのピン1に整列していることを確認してください。ボードのIR/CIR機能を有効にするには、オプションのIR/CIRモジュールをご購入いただか必要があります。詳細な情報は、公認のGiga-Byte代理店にお問い合わせください。

IR機能のみを使用するには、IRモジュールをピン1からピン5に接続してください。

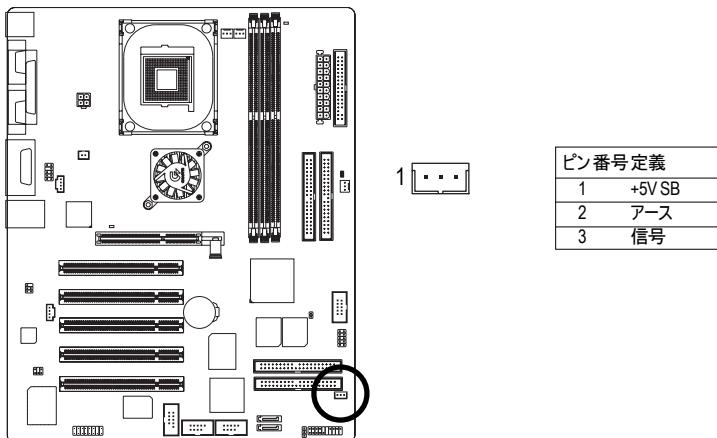
**16) F\_USB1 / F\_USB2(前面USBコネクタ, 黄色)**

前面USBコネクタの極性にご注意ください。前面USBケーブルを接続している間にピン割り当てをチェックしてください。オプションの前面USBケーブルについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。



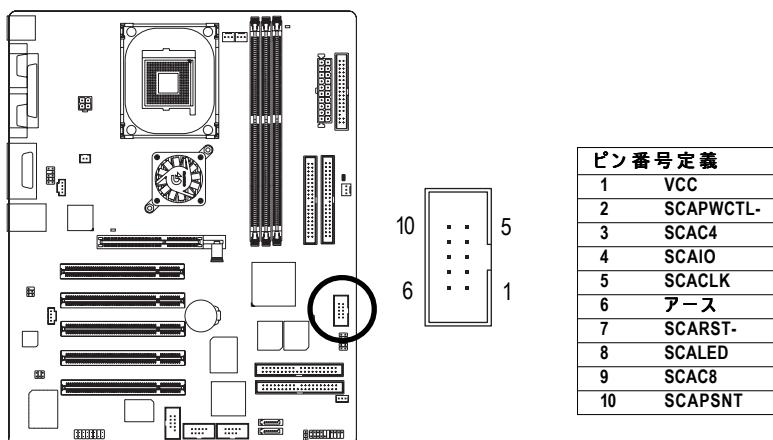
## 17)WOL (ウェークオンLan)\*\*

このコネクタにより「サーバーの削除(Remove Server)」はWOLもサポートするネットワークアダプタを介して、このマザーボードを取り付けたシステムを管理することができます。



## 18)SCR (スマートカードリーダーヘッダ、黒いコネクタ)

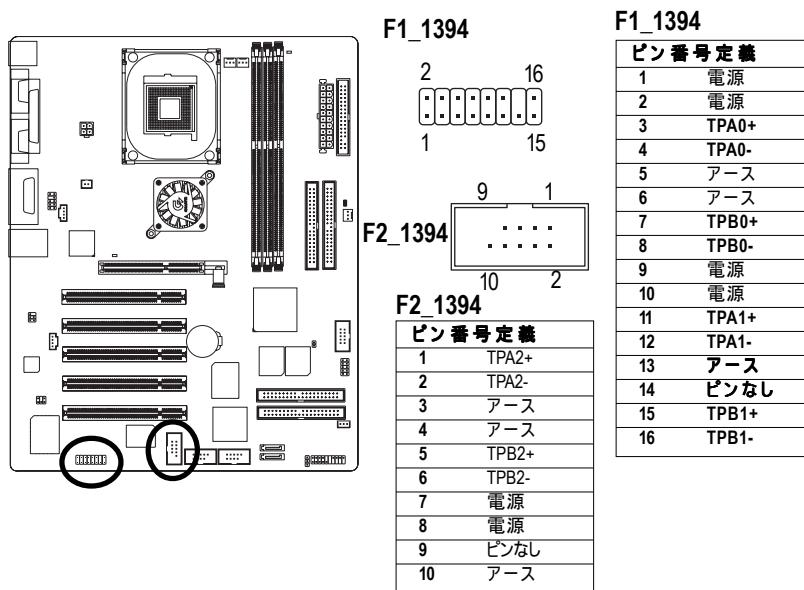
このMBはスマートカードリーダーをサポートします。スマートカードリーダーを使用できるようにするには、オプションのスマートカードリーダーボックスが必要となります。公認の代理店にお問い合わせください。



\* GA-8PE800 Pro専用 \*\* GA-8PE800 Ultra専用

### 19) F1\_1394/F2\_1394 ( IEEE 1394コネクタ)

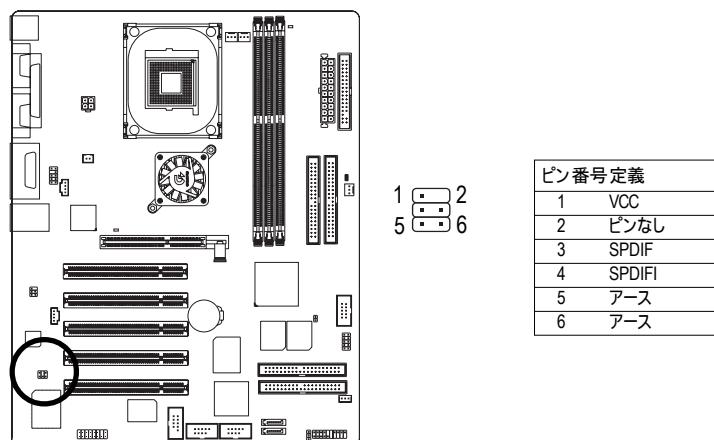
**注意:** Institute of Electrical and Electronics Engineersが設定したシリアルインターフェイス規格で、高速、高いバンド幅、ホットプラグのような特徴を備えています。



### 20) SPDIF\_IO

SPDIF出力は、デジタルオーディオを外部スピーカーに、または圧縮されたAC3データを外部のDolby Digital Decoderに提供することができます。この機能は、ステレオシステムがデジタル入力機能を搭載しているときだけご使用になれます。

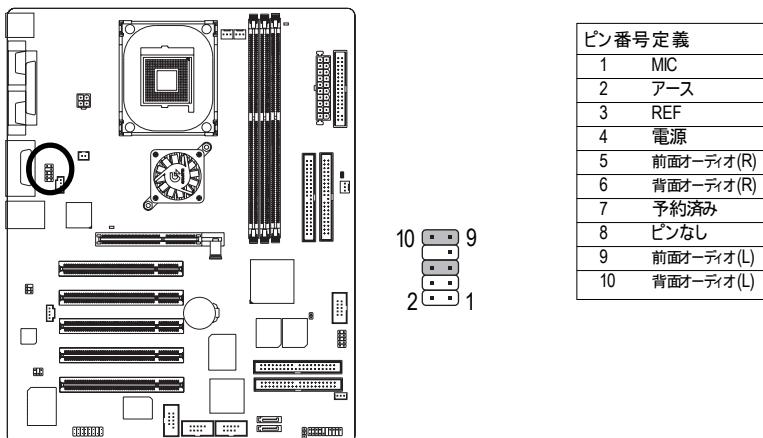
SPDIF IN機能は、デバイスがデジタル出力機能を搭載しているときだけご使用になれます。



日本語

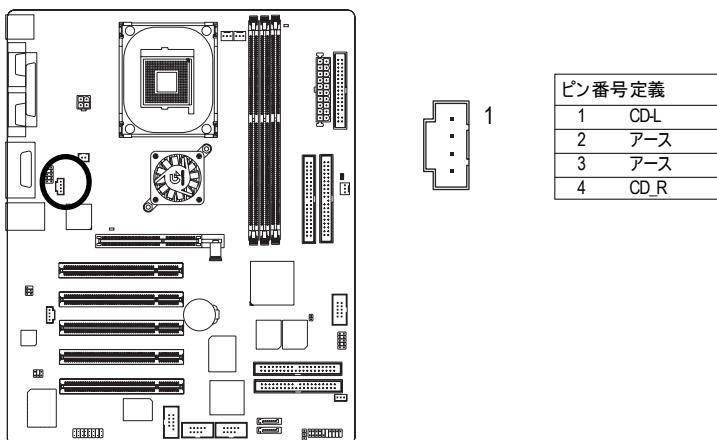
## 21) F\_AUDIO (F\_AUDIOコネクタ)

フロントオーディオコネクタをご使用になる場合、5-6,9-10ジャンパを削除する必要があります。フロントオーディオヘッダを利用するには、シャーシがフロントオーディオコネクタを装備している必要があります。また、ケーブルのピン割当てがMBヘッダのピン割当てと同じになっていることを確認してください。ご購入になったシャーシが前面オーディオコネクタをサポートしているかどうかを知るには、販売店にお問い合わせください。



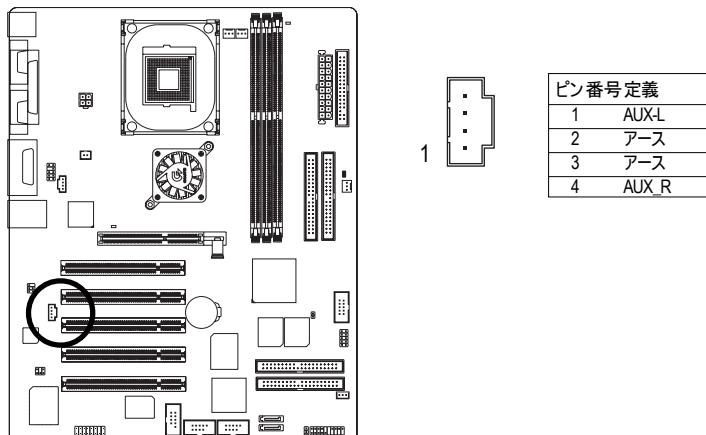
## 22) CD\_IN (CD IN, ブランク)

CD-ROMまたはDVD-ROMオーディオアウトをコネクタに接続します。

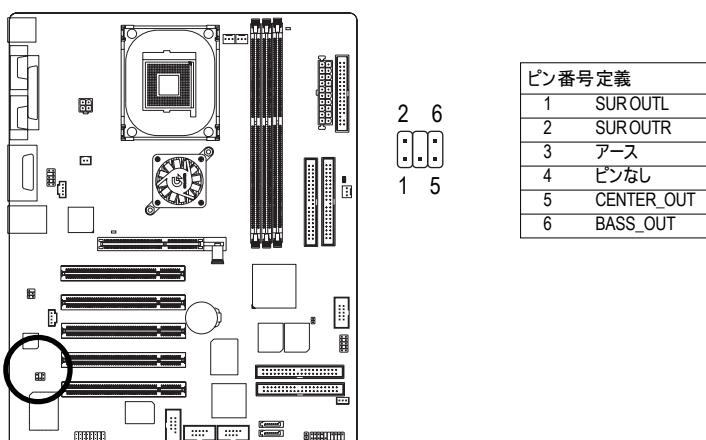


**23) AUX\_IN (AUXインコネクタ)**

他のデバイス(PCI TVチューナー、チューナーオーディオアウトなど)をコネクタに接続します。

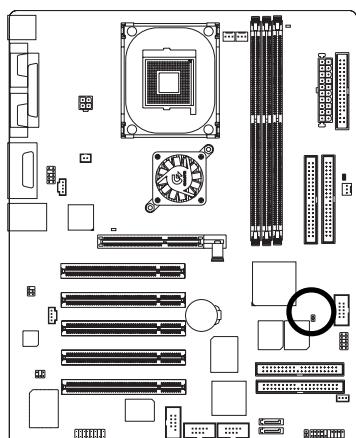
**24) SUR\_CEN**

オプションのSUR\_CENケーブルについては、最寄りの販売店にお問い合わせください。



## 25) CI (ケースオープン)

この2ピンコネクタにより、システムケースの取外しを開始するとき、BIOSの“ケースオープン”アイテムを使用可能/使用不能に設定することができます。



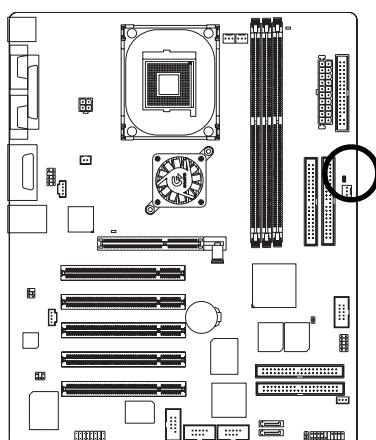
ピン番号定義	
1	信号
2	アース



## 26) CLR\_PWD

ジャンパを"開く"に設定してシステムを再起動すると、設定したパスワードは消去されます。反対に、ジャンパを"閉じる"に設定すると、現在の設定が維持されます。

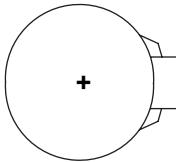
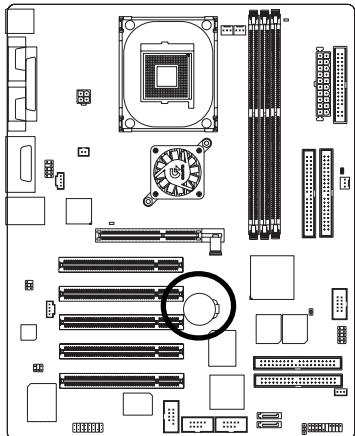
● PS. 機能はパスワードを忘れたユーザーのために提供されています。



□ 1 開く: パスワードの消去

□ 1 閉じる: 標準

27) BATTERY (バッテリ)



**通告**

- ❖ バッテリは、正しく交換しないと爆発する恐れがあります。
- ❖ メーカーが推奨するタイプのバッテリ、または同等のバッテリと交換してください。
- ❖ 使用済みバッテリの処分は、メーカーの指示に従ってください。

CMOSを消去する場合...

- 1.コンピュータの電源をオフにし、電源コードを抜きます。
- 2.バッテリを取り出します。
- 3.バッテリを再び入れます。
- 4.電源コードを差し込み、コンピュータの電源をオンにします。